

分類 4

分類 4 - A a 文献図書 - 参考図書目録 分類 4

## 参考図書並びに文献資料

日本大衆生活の発展 西沢秀吉著 昭和10年11月 東学社 A 5  
619頁

火災学 第1編 火災史略論兼消防要 西松唯一著 大正3年8月  
丸善株式会社 A 5 44頁・付49頁

火災学 第2編 消防要 西松唯一著 昭和12年2月 東京日本新聞書房  
A 5 525頁

火災学 第3編 消防要 西松唯一著 昭和12年2月 東京日本新聞書房  
A 5 507頁

火災学 第4編 消防要 西松唯一著 昭和12年2月 東京日本新聞書房  
A 5 347頁

火災学 第5編 消防要 西松唯一著 昭和12年2月 東京日本新聞書房  
A 5 482頁

火災学 第6編 消防要 西松唯一著 昭和12年2月 東京日本新聞書房  
A 5 687頁

火災学 第7編 消防要 西松唯一著 昭和12年2月 東京日本新聞書房  
A 5 405頁

火災学 第8編 消防要 西松唯一著 昭和12年2月 東京日本新聞書房  
A 5 323頁



## 分類 4

### 分類 4 - A a 文献図書・参考図書目録

書名	編著者名	刊行年月	発行所	版型	頁数
日本火術薬法之巻	西沢勇志智著	昭和10年11月	東学社	A 5	619頁
火薬学 第1編火薬史総論黒色火薬	西松唯一著	大正3年8月	丸善株式会社	A 5	44頁・付49頁
兵学者 佐藤信淵	川越重昌著	昭和18年3月	東京日本橋鶴書房	A 5	529頁
本田利明、海保青陵	日本大思想大系44	1970年6月25日	岩波書店	A 5	507頁
開国の先覚者 中居屋重兵衛	佐佐木杜太郎著	昭和47年11月	新人物往来社	A 5	347頁
砲術・水術・忍術史	日本武道全集・4	昭和41年9月	人物往来社	A 5	482頁
鳥取藩史 第3巻	鳥取県編	昭和45年10月	鳥取県立鳥取図書館	A 5	687頁
鹿児島百年（上）	幕末編	南日本新聞社編	昭和43年1月	春苑堂書店	A 5 405頁
一般火薬学	山本祐徳著	昭和44年1月	一橋書房	A 5	325頁

海軍火薬廠追想録 編刊 海軍火薬廠追想録刊行会 昭和60年 8月  
A 5 544頁

日本陸軍火薬史 同補遺 長谷川治良編 昭和44年11月 桜火会  
A 5 310頁 昭和53年 8月 補遺25頁

火薬類通覧 明石東次郎・鈴木貞造共著 明治44年 7月 警察協会  
四六判 79頁 付160頁

火薬ひとすじ ― 自叙伝 ― 南坊平造著 1985年 1月 自刊  
A 5 399頁

鉄砲伝来記 平山武章著 昭和44年・52年 3刷、八重岳書房 A 5  
318頁

鉄砲伝来 宇田川武久著 1990年 2月 中央公論社 中公新書  
182頁

あい砲 愛知県古銃研究同好会編刊

3号 平成元年 B 5 56頁

5号 平成4年 B 5 92頁

6号 平成5年 B 5 102頁

江戸時代の科学 鉄砲からハイテクへ 澤田平著 思文閣美術館編刊  
平成3年11月 B 5 49頁

日本史にみる鉄砲展 ― そごう神戸店にて開催の図録 ― 昭和47年 4月  
読売新聞大阪本社主催 B 5 60頁

世界の鉄砲展 日本ライフル射撃協会・銃砲史学会作成図録  
昭和49年 5月 クリエイティブ・プランニング・センター  
B 5 55頁

日本の鉄砲 ― その伝来から明治まで ― 特別展図録 昭和49年11月  
神奈川県立博物館 B 5 52頁

日本の鉄砲 ― 吉岡コレクションの全貌に迫る ―  
大阪城天守閣展示図録 昭和58年3月 大阪城天守閣特別事業委員会  
B 5 55頁

櫻町鉄砲（さかいづつ） 澤田平編 昭和57年11月 堺鉄砲研究会  
B 5 32頁

日野鉄砲（ひのづつ） 澤田平編 堺鉄砲研究会刊 平成2年3月  
B 5 34頁

戦国浪漫「火縄銃は語る」 鉄砲伝来444年展  
山口県にしむら博物館編刊 昭和62年10月 A 4 35頁

鉄砲伝来450年 企画編集、鹿児島県歴史資料センター黎明館  
平成5年9月 A 4 119頁

花火 清水武夫著 昭和41年再版 一橋書房 B 6 339頁

花火の話 清水武夫著 1976年7月 河出書房新社 B 6 219頁

花火の科学 細谷政夫著 1980年7月 東海大学出版会 B 6  
162頁、11頁

花火 ― 火の芸術 ― 小勝郷右著 1983年7月1刷 1990年2月2刷  
岩波書店 岩波新書 196頁

大曲の花火小史 大曲市編刊 平成2年3月 秋田県大曲市  
A 5 104頁

仙台花火史の研究 岡田登著 平成5年8月 朝日新聞名古屋本社

ドン！ と花

中国における

日本煙火協会

近世硫黄史の

庶民の世紀

匠たちへの誘

昭

臼 (うす)

「粉」の文化

三輪茂雄

中国化学史話

中国·窟洞村

中国爆竹の研

岡田登著 平成元年 7 月 森重出版企画 K K B 5 99頁

天工開物 宋応星撰 藪内清訳注 昭和45年 5 月、5 版 平凡社  
東洋文庫 379頁

森林の思考・砂漠の思考 鈴木秀夫著 1992年 8 月、42刷  
日本放送出版協会 N H K ブックス 222頁

水車の四季 文・室田武、写真・河野裕昭 1983年 7 月 日本評論社  
A 5 158頁

日本の水車 黒岩俊郎・玉置正美・前田清志編 昭和55年 5 月  
ダイヤモンド社 B 5 変 250頁

まわる、まわれ水ぐるま 企画 I N A X ギャラリー 1986年 6 月  
株式会社 I N A X 東京ショールーム B 5 変 107頁

花巻市文化財調査報告書 花巻市教育委員会発行

第 4 集 昭和53年 3 月 B 5 45頁

第 5 集 昭和54年 3 月 B 5 51頁

第 6 集 昭和55年 3 月 B 5 69頁

第 8 集 昭和57年 3 月 B 5 110頁

第 9 集 昭和58年 3 月 B 5 144頁

第10集 昭和59年 3 月 B 5 309頁

第11集 昭和60年 3 月 B 5 125頁

第12集 昭和61年 3 月 B 5 199頁

第13集 昭和62年 3 月 B 5 175頁

第14集 昭和63年 3 月 B 5 161頁

## 分類4-A b 一般図書・冊子類目録

書名	編著者名	刊行年月	発行所	版型	頁数
現代日本文明史（第13巻）科学史	石原純著	昭和17年 8 月	東洋経済新報社	A 5	489頁
科学論 哲学総論 I	下田弘著	昭和41年 4 月	明玄書房	A 5	489頁
物理学精義	西沢勇志智、多田静夫共著	昭和 2 年 5 月	宝文館	A 5	748頁
物理	藤岡由夫ほか 4 名共著	昭和39年 2 月	大日本図書株式会社	A 5	383頁
化学講義	高田徳佐著	大正14年 5 月	光風館書店	A 5	660頁
化学史 — その思想と技術 —	都築洋次郎著	昭和45年 4 月	朝倉書店	A 5	259頁
最新化学解説	佐藤健太郎著	昭和32年12月	修学社	A 5	319頁
化学	斎藤鐘次郎ほか共著	昭和40年	東京教学社	A 5	183頁
基礎化学	平川暁子編著	1991年 3 月	放送大学教育振興会	A 5	181頁
日本の化学工業 第 3 版、第 4 版	渡辺徳二・林雄次郎編著	1968年 6 月 1974年 8 月	岩波書店	岩波新書	201頁

- だれが原子をみたか 江沢洋著 1976年 6 月 岩波書店 A 5  
302頁
- 生活の理化学 阿武喜美子著 昭和41年 3 月 光生館 A 5 245頁
- 魔法から科学へ チャールス・シンガー著 山田坂仁訳  
昭和19年12月 北隆館 A 5 401頁
- イオンが好きになる本 ―もう化学はつらくない― 米山正信著  
1992年 5 月 講談社 B 6 249頁
- 化学迷答集 ―誤答はなぜ起こる― 山崎昶著 1991年10月  
講談社 B 6 201頁
- 善の研究 西田幾太郎著 昭和30年 4 月 18刷 岩波書店  
岩波文庫 221頁
- 思索と体験 西田幾太郎著 大正12年12月、32版 岩波書店  
四六判 316頁
- 俊寛・布施太子の入山 倉田百三著 昭和26年 9 月 角川書店  
角川文庫 186頁
- 愛と認識との出発 倉田百三著 昭和37年 2 月、46版 角川書店  
角川文庫 285頁
- 絶対の恋愛 倉田百三著 昭和38年 1 月、13版 角川書店  
角川文庫 212頁
- 南無阿弥陀仏 柳宗悦著 1991年 6 月 岩波書店 ワイド版  
岩波文庫 342頁
- わが歎異抄（上）（中）（下） 暁烏敏 昭和52年 2 月・2 月・3 月

潮文社 A 5 313頁・341頁・265頁

工芸（民芸運動の雑誌） 秋葉啓編刊

7号	昭和6年7月	59頁	10号	昭和6年10月	94頁
17号	昭和7年5月	72頁	24号	昭和7年12月	71頁
27号	昭和8年3月	65頁	28号	昭和8年4月	98頁
30号	昭和8年6月	66頁	35号	昭和8年11月	80頁

計8冊 A 5版 東京聚楽社

工芸文化 新装 柳宗悦選集 第3巻 日本民芸協会編 1972年4月  
春秋社 A 5 345頁

民と美 新装 柳宗悦選集 第7巻 日本民芸協会編 1972年10月  
春秋社 A 5 380頁

古文書への招待 同2（応用編） 藤本篤著 1979年5月 1980年4月  
柏書房株式会社 A 5 142頁 A 5 158頁

岩手の古文書 第2号 昭和63年6月 岩手古文書学会（岩手県）  
B 5 77頁

花巻市史民俗篇 熊谷章一 昭和42年9月 花巻市教育委員会  
A 5 48頁

花巻市文化財調査報告書 植物篇(2) 昭和55年3月 花巻市教育委員会  
B 5 24頁

加賀能登の年中行事 今村充夫著 昭和52年2月 北国出版社  
A 5 418頁

世界地理風俗大系

第4巻	南 洋	昭和4年3月	B 5	314頁
第11巻	ドイツ篇	昭和6年3月	B 5	378頁

第14巻    イタリア    昭和3年9月    B 5    330頁  
別 巻    写 真 版    昭和6年8月    B 5    364頁、52頁  
計4冊    新光社発行

払田柵跡    昭和50年度発掘調査概要    1976年3月    秋田県教育委員会  
B 5    37頁、図版19頁

払田柵跡    — 第12次補足・第13～22次発掘調査概要 —    1979年3月  
秋田県教育委員会    B 5    64頁、図版・写真92頁

払田柵跡    — 第46～52次発掘調査概要 —    1983年3月  
秋田県埋蔵文化財振興会    B 5    61頁、図版・写真98頁

東京の港と海の公園    樋渡達也著    1981年4月    郷学舎  
東京公園文庫    108頁

海 12号    菊池貞次編刊    平成2年2月    ウオテイレストラシステム  
B 6 横    99頁

昔からあった日本のベット    小川光暘著    1990年4月  
株式会社ワコール    A 5    203頁

図説 廁まんだら    企画 伊奈ギャラリー    1985年6月、2版  
イナックス東京ショールーム    B 5 変    83頁

爆弾事件の系譜    萩原晋太郎著    1988年7月    新泉社    B 6  
277頁

現代中国語辞典    香坂順一編著    1991年10月    光生館    B 6  
1784頁、61頁

長安から北京へ    司馬遼太郎著    昭和51年10月    中央公論社  
A 5    293頁

- 沙漠緑化に命をかけて 遠山正瑛著 1992年7月  
 株式会社TBSブリタニカ A5 197頁
- 沙漠を緑に 遠山枉雄著 1993年6月 岩波書店 岩波新書 196頁
- 崑崙の秘密境探検記 周正著・田村達也訳 昭和61年11月  
 中央公論社 中公新書 166頁
- 中国ひとり旅 武田亨著 1991年9月 連合出版 A5 207頁
- 大地(一)(二)(三)(四) パール・バック著 新居格訳 中野好夫補訳  
 昭和28年12月、平成4年72刷 新潮社 新潮文庫  
 374頁、352頁、358頁、298頁
- ユーラシア大陸思索行 色川大吉著 昭和51年 中央公論社  
 中央文庫 287頁
- 西藏放浪 上・下 藤原新也著 1985年6月・1992年2刷・  
 昭和60年6月 朝日新聞社 朝日文庫 234頁・224頁
- シルクロード(上)(下) ヘデイン著 福田宏年訳 1984年6月、  
 1991年11刷 岩波書店 岩波文庫 220頁、261頁
- 西域物語 井上靖著 昭和52年3月、昭和55年11刷 新潮社  
 新潮文庫 256頁
- 街道をゆく ―中国・蜀と雲南のみち、中国・江南のみち―  
 司馬遼太郎著 1987年3月、1992年3刷 朝日新聞社 朝日文庫  
 341頁、265頁
- 秘密の国 西藏遊記(チベット) 青木文教著 1990年2月  
 中央公論社 中公文庫 383頁

オーパ、オーパ!! — モンゴ・中国篇、スリランカ篇 —

写真 高橋昇 開高健著 1991年1月、1992年6刷 集英社  
集英社文庫 384頁

回想のモンゴル 梅棹忠夫著 1991年12月 中央公論社  
中公文庫 241頁

旅は道づれガンダーラ 高峰秀子・松山善三共著 1992年10月  
中央公論社 中公文庫 278頁

アフガニスタン紀行 岩村忍著 1992年12月 朝日新聞社  
朝日文庫 238頁

## 分類4－B

# 研究発表刊行物目録

書名	編著者名	刊行年月	発行所	版型	頁数
木砲・紙砲・革砲考	安斉実	昭和36年4月	「学生射撃」3号		12頁
火縄銃についての考察	生田豊太郎	平成2年12月	「銃砲史研究」225号	抜刷	16頁
銃砲の安全（その4）	伊藤渾吉	昭和55年	抜刷		5頁
仙台藩の焰硝蔵	氏家一郎	昭和58年12月	「仙台郷土研究」 復刊8巻2号		4頁
仙台藩鉄砲火薬史こぼれ話	氏家一郎	平成5年5月	宮城県公報「ミヤギ」3号		2頁
近世初頭における火器の普及と生産	宇田川武久	平成2年3月	「国立歴史民俗博物館研究報告」第25集		198頁
中国における爆竹、爆仗、煙火の起源とその初期の発展	岡田登	昭和57年3月	「岡崎女子短期大学研究報告」第15輯	抜刷	18頁
中国における黒色火薬の発明（その1）	岡田登	平成7年4月	「火薬と保安」107号	抜刷	7頁
塩硝づくりの近代化	鎌谷親善	昭和51年	「化学と工業」29－7号	抜刷	3頁

江戸時代の化学技術（塩硝づくり） 1 頁  
ほか手紙と記録 6 枚

鹿児島県谷山作硝見聞記 河島高良 明治初年  
「日本火術法之巻」収載 西沢勇志智 P 535～P 540

鹿児島県火薬製造所硝見聞記 河島高良 明治初年  
「日本火術法之巻」収載 西沢勇志智 P 541～P 548

板荷地方火薬塩硝手製に関する 1 件（富久田耕平家文書解説） 熊田一  
昭和59年 「鹿沼史林」23号 13頁

明らかにされた郷土の事実 秩父の焰硝事情について 小池昭一  
平成 3 年 秩父高校「紀要」14集 6 頁

江戸時代のネジ 澤田平 昭和59年 9 月 「シップ」第 5 集 4 頁

井上関右衛門鉄砲鍛冶屋敷 澤田平 昭和60年 玉川大学出版部刊  
「日本の産業遺産」抜刷 9 頁

大阪城西の丸石造焰硝蔵 澤田平 平成元年 3 月  
「歴史研究」第335号 2 頁

日本砲術と捕鯨 澤田平 平成 5 年 特集・捕鯨文化を語る  
抜刷 10頁

古式銃の定義 澤田平 古式銃入門講座 1～7 11頁

日本におけるねじの始まり 澤田平  
火縄銃ねじ類調査特別委員会報告書 抜刷 8 頁

堺鉄砲鍛冶極印事件日記（文政年間） 澤田平 抜刷 11頁

「堺鉄砲研究」の澤田平論文

丹南鋳物師と堺の手銃	No.12	4 頁
江戸時代のネジ	No.15	4 頁
芝辻鍛造砲とその製法	No.16	7 頁
大阪城総石造焰硝蔵と収蔵量	No.17	8 頁
堺の鉄砲とその源流	No.19	9 頁
和銃と和時計	No.20	5 頁
幻の「佩弾」銃発見！その経緯と銃のメカニズム	No.28	6 頁
武田信玄と鉄砲「信玄砲」から銃創死を検証する	No.29	6 頁
長篠の戦い「三段射法」を検証する、その再現と実験	No.30	10頁
稲富伊賀守の忍辱	No.31	6 頁
戊辰戦争・西南の役に於ける洋式銃	No.32	8 頁
侍ハンター、加藤清正の虎退治	No.34	5 頁
長崎の仇を宝島で撃った。薩摩藩士吉村九助の沈着	No.40	8 頁
サムライガン スミス 紀州藩士 出来助右衛門正義	No.41	7 頁
丹波大じょう橋宗俊、抹殺論を抹殺する	No.42	8 頁
「芥砲」は実在した、東洋のエジソン久米通賢と「芥砲」考	No.45	8 頁

古代火薬技術簡史 新開高明訳 昭和61年 「工業火薬」47-2 抜刷 9 頁

欧米火薬史 — 黒色火薬ほか 中原正二

- (1)黒色火薬 (2)無煙火薬 (3)ダイナマイト (4)ニトロ化合物など  
(5)起爆剤と弾薬 (6)安全な爆薬を求めて

昭和63年・64年 「防衛技術」抜刷 57頁

幕末尾張藩の山田河原における軍事訓練について

名古屋市守山郷土史研究会 1993年1月 「もりやま」第12号 22頁

花火 西沢勇志智 昭和10年刊 「日本火術薬法之巻」抜刷

P 566～P 609

大坂冬の陣に使われた大筒の性能 松永猛裕ほか 3 名 昭和61年  
「工業火薬協会誌」47巻 第1冊 通巻226 5頁

140年以上の歴史がある静岡草薙の龍勢（ロケット） 武藤輝彦  
平成3年6月 「工業火薬」52巻 3冊 別刷 10頁

明治8年の鉄砲調べをめぐって 安田修 1992年1月  
名古屋市守山区、守山郷土史研究会 「もりやま」第11号 11頁

魔法の鉄砲 — ポルトガルから極東へ鉄砲の伝来 —  
ライエル ダエンハールト 抜刷 32頁

# 分類4－B付

## 銃砲史学会編 「銃砲史研究」 総目次

著者名	題 名	(刊行 年)と号数
所 莊 吉	種子島伝来銃についての考察	(昭43) 1
有 馬 成 甫	ポルトガルの東方進出史<1-10>	(昭43) 1. 2. 3. 4. 5. 6 (昭44) 7. 9. 10. 11
〃	銃砲史学会の新しい進路について	(昭43) 2
南 坊 平 造	火薬は誰が発明したか	( 〃 ) 2別冊
有 馬 成 甫	成園文庫収蔵西洋兵書目録<1-4補>	(昭43) 2. 3. 6 (昭44) 8. 11
福 地 復 彦	唐津城跡の南蛮大砲に就て	(昭43) 3
所 莊 吉	幕末の洋式銃について<1-3>	( 〃 ) 4. 5. 6
有 馬 成 甫	海軍火薬事業沿革	( 〃 ) 4
〃	海軍に於ける無煙火薬の採用	( 〃 ) 5
〃	下瀬火薬製造所沿革	( 〃 ) 6
〃	克砲の採用について	(昭44) 7
南 坊 平 造	越中五箇山に塩硝を訪ねて	( 〃 ) 7
有 馬 成 甫	カーネー式32拇砲採用の経緯	( 〃 ) 8
安 齊 実	家康と射撃	( 〃 ) 8
有 馬 成 甫	日本文化の要素	( 〃 ) 8
所 莊 吉	戦国期の火縄銃の遺品について	( 〃 ) 9
有 馬 成 甫	山内自動閉鎖機及山内砲架の採用	( 〃 ) 9
所 莊 吉	和銃の時代区分について	( 〃 ) 10
有 馬 成 甫	砲楯の問題	( 〃 ) 10
安 齊 実	砲伝来当時の射撃術の理念	( 〃 ) 11
有 馬 成 甫	速射砲の採用	( 〃 ) 11
〃	海軍製鋼作業の沿革	( 〃 ) 12
黛 治 夫	日本海海戦に於ける東郷艦隊の敵前大角度方向転換について	( 〃 ) 12
安 齊 実	国友鉄砲鍛冶国友寛次郎翁より直接聞いた火縄銃の作り方の話	( 〃 ) 13
黛 治 夫	高速戦艦金剛榛名のガダルカナル飛行場の砲撃	( 〃 ) 13
有 馬 成 甫	ポルトガルの東方進出史の後にイギリスの印度征服統治史略	(昭44) 13
南 坊 平 造	火薬の発明<1-10>	(昭44) 14. 15 (昭45) 17. 21 (古代火薬史年表) 24 (昭46) 26. 30. 34. 35 (昭47) 36
有 馬 成 甫	日本国防史概説<1-6>	( 〃 ) 14. 15 (昭45) 16. 18. 19. 20

山 田 太 郎	呉造兵物語＜1－11＞	(昭44) 15	(昭45) 16, 17, 18, 20, 24 (昭46) 26, 28, 30, 32, 33
白 鳥 硝 巖	銃砲語源抄	(昭45)	16
所 庄 吉	堺鉄砲鍛冶雑記	( " )	16
"	文明移入に関する資料目録解題＜1－6＞	( " )	18, 19～23
有 馬 成 甫	メキシコ征服史＜1－11＞	( " )	21～25 (昭46) 27～32
奥 村 正 二	幕末史の二つの疑問点、黒船と海軍学校について	(昭45)	22
所 庄 吉	海軍学校に就ての私見	( " )	24
奥 村 正 二	金属定量分析技術の系譜	( " )	25
所 庄 吉	唐津城鉄砲古事弁妄	( " )	25
"	奇銃考	(昭46)	26
奥 村 正 二	造砲から造幣へ	( " )	27
所 庄 吉	大砲術に与えたオランダの影響＜1－3＞	( " )	27, 29, 32
戸 塚 芳 男	水戸の反射炉	( " )	28
南 坊 平 造	花火はどこから日本へ伝わったか	( " )	31
所 庄 吉	わが国に於ける硝石の価格	( " )	31
高 井 稔 次 郎	艦砲射撃術＜1－3＞	(昭46) 31, 35	(昭47) 36
有 馬 成 甫	韭山の反射炉	(昭46)	33
所 庄吉・吉岡新一	国友鍛冶による定式3匁5分玉筒	( " )	33
山 田 太 郎	海軍工作庁年表＜1－4＞	( " ) 34	(昭47) 38, 42, 43
所 庄 吉	国友資料による銃砲の価格について	(昭46)	34
"	国友資料による彦根一件	( " )	35
所 庄吉・吉岡新一	史料紹介、国友鍛冶文書＜1－5＞	( " ) 35	(昭47) 36, 37, 40, 41
所 庄 吉	国友鍛冶の由来	( " )	36
"	国友鍛冶年寄制度の研究	( " )	37
"	資料紹介、東洋諸国の古銃概況	( " )	37
"	国友十人方鍛冶について	( " )	38
山 田 太 郎	初期の呉海軍工廠・海田仁助老の談話	( " )	38
"	光海軍工廠のことども＜1・2＞	( " )	39, 43
有 馬 成 甫	生麦事件と薩英戦争＜1・2＞	( " )	39, 40
所 庄 吉	一貫斉の気砲をめぐって	( " )	39
"	国友に於ける鉄砲製作の起源	( " )	40
"	木砲雑感 ― 江戸担庵の木砲	( " )	41
安 斉 実	合武三島流船軍学森重流砲術について	( " )	41
所 庄 吉	大坂役以後の国友鉄砲鍛冶	( " )	42
山 田 太 郎	承前、海軍製鋼作業の沿革	(昭47)	42
所 庄 吉	若拙国友戸十郎のことども	( " )	43
奥 村 正 二	幕末反射炉の技術的評価	( " )	44
所 庄 吉	国友鉄砲鍛冶について	( " )	44
川 北 知 三	射撃競技の為の「精密弾道学」の古典的研究について＜1－5＞		

所 莊 吉	国友鉄砲の上納	(昭47)	45
山 田 太 郎	Q四施設について、附表共	( " )	45
南 坊 平 造	設楽原の鉄砲戦と鉄砲薬	(昭48)	46
田 中 宏 己	清初紅衣砲車の輸送問題	( " )	46
所 莊 吉	国友鉄砲鍛冶の身分について	( " )	46
"	木尾事件・鉄砲制作の耐火土をめぐる	( " )	47
奥 村 正 二	和鉄で大砲が作られたか、大橋高炉建設の出発点	( " )	47
山 田 太 郎	呉海軍工廠電気関係部回顧	( " )	47
所 莊 吉	国友鉄砲鍛冶の生活	( " )	48
南 坊 平 造	日本の火薬の歴史<1-3>	( " )	48. 49. 51
所 莊 吉	国友鉄砲鍛冶の定式配分について	( " )	49
太 田 弘 毅	明代の海上火器について<前・後>	( " )	49. 50
山 田 太 郎	鑑砲の事故について	( " )	50
所 莊 吉	国友に於ける定式筒のおこり	( " )	50
"	国友に対する幕府諸組の銃砲注文	( " )	51
山 田 太 郎	補遺・鑑砲の事故について<1・2>	( " )	52. 53
所 莊 吉	承前、国友鍛冶について	( " )	52
南 坊 平 造	日本火薬の歴史年表<1・2>(別刷)	( " )	52. 53
訃 報	本会会長文学博士有馬成甫先生の永眠	( " )	52
山 田 太 郎	有馬成甫博士著書および論文集紹介<1-11、補>	( " ) 53 (昭49) 57. 59~62. 64 (昭50) 66. 68. 70. 72 (昭51) 76	
所 莊 吉	有馬成甫先生と国友一貫斎	(昭48)	53
南 坊 平 造	有馬博士と火薬の歴史	( " )	54
所 莊 吉	幻の名工国友丹波大縁・橘宗俊	( " )	54
黛 治 夫	海軍砲の射撃効果について、附表共	( " )	54
所 莊 吉	国友鉄砲鍛冶年寄の権限について	( " )	55
内 田 亮 之 輔	鑑砲の事故についての回想	( " )	55
所 莊 吉	国友鍛冶による鉄砲の製作法	(昭49)	56
南 坊 委 員 長	種子島博物館における鉄砲火薬展示解説委員会報告	( " )	56
所 莊 吉	国友十人方鉄砲鍛冶の子孫を求めて	( " )	57
	資料・鑑載砲の位置について	( " )	58
所 莊 吉	国友鉄砲鍛冶の作品<1・2>	( " )	58. 59
"	弘化以後に於ける国友鉄砲鍛冶	( " )	60
	資料・軍艦金剛の主砲の決定経緯	( " )	60
所 莊 吉	鉄砲伝来論攷<1-4>	(昭49)	61~64
南 坊 平 造	明治維新の銃砲戦力の研究<1-8>	( " ) 62. 63. 65 (昭50) 67. 69. 70. 72. 74	
戸 塚 芳 男	書評・断水樓主人池亮吉氏の著、訳書を読んで	(昭49)	62
川 越 重 昌	佐藤信淵の徳島鉄砲一件裏付資料を求めて	( " )	63

所 莊 吉	紅毛火術録の成立	( " )	65
山 田 太 郎	日本海軍における革衛帯（パッキン）の改良について	( " )	65
安 齊 実	銃砲史研究の重要性	(昭50)	66
所 莊 吉	天文以前における鉄砲伝来の実否について	( " )	66
"	西洋兵学書翻訳の発端	( " )	67
"	稲富一夢略伝＜前・後＞	( " )	68, 71
山 田 太 郎	豊川海軍工廠の事跡＜1・2＞	( " )	69, 71
川 越 重 昌	徳島藩内の鉄砲鍛冶総数224名確認	( " )	71
"	火縄銃の的中率（徳島県）	( " )	72
"	由良浦台場（淡路）築造始末	( " )	73
山 田 太 郎	日本海軍最初の弾道表について	( " )	73
川 越 重 昌	徳島藩砲術流派史の縮図	( " )	74
"	徳島藩に於ける荻野流砲術の顛末	( " )	75
"	徳島藩番所の緊張状況から見た佐藤信淵一件	(昭51)	76
大 橋 周 治	安心流（宇佐）および福岡藩の幕末反射炉	( " )	77
所 莊 吉	鉄砲史における二、三の問題について（製法技術）	( " )	77
川 越 重 昌	徳島藩の藩所有火縄銃備量（上）	( " )	78
"	江戸時代に於ける火術の全容一大成をみた安盛流の構造と伝書	( " )	79
"	徳島藩に於ける西洋流砲術操練の顛末＜上・下＞	( " )	80, 81
所 莊 吉	鉄砲屋の昔咄＜1・2＞	( " )	80, 81
南 坊 平 造	鍵屋弥兵衛と両国の花火	( " )	82
所 莊 吉	徳川幕府の銃砲取締政策について	( " )	82
"	補説・天文以前に於ける銃砲伝来の実否について	( " )	83
川 越 重 昌	徳島藩焰硝史素描＜1-17＞	( " ) 84, 85 (昭52) 86~95 (昭53) 96~100	
山 田 太 郎	日本海軍の弾丸について＜1-11＞	(昭51) 84 (昭52) 88, 90, 91, 93, 94 (昭53) 96, 97, 98, 100, 103	
黛 治 夫	日本海軍艦砲射撃命中率の変遷＜前・後＞	(昭51) 85 (昭52) 86	
所 莊 吉	「砲術備要」にまつわる逸聞	(昭51)	85
泉 水 巖	梨花槍について	(昭52)	86
南 坊 平 造	五條と堺の鉄砲薬調合所	( " )	87
所 莊 吉	「異風」について	( " )	88
大 橋 周 治	幕末武雄の鑄砲事業	( " )	89
所 莊 吉	佐賀反射炉の成功について	( " )	92
"	火縄銃のネジに就て	( " )	94
所 莊 吉	疑問の人物、津田監物について	(昭52)	95
南 坊 平 造	硝石の生産地	(昭53)	96
"	"（日本）	( " )	97
"	火薬、火器の伝流と硝石生産の歴史	( " )	99
国 友 秀 夫	有馬先生との出会い	( " )	101

山 田 太 郎	呉海軍工廠造兵部門今昔	( " )	101
川 越 重 昌	山鹿素行遺篇焰硝篇の混雑を修正する	( " )	101
奥 村 正 二	松濤の火砲と駒場野観兵式	( " )	101
所 莊 吉	幕末軍艦開陽丸の積載砲について	( " )	102
岡 田 登	花火の起源とその発展<1-6>	(昭53) 102~105	(昭54) 106. 107
所 莊 吉	資料紹介、馮家昇著、泉水巖訳・火薬の発明と西伝<1-5>	(昭53) 103~105	(昭54) 106. 107
川 越 重 昌	東北諸藩保有鉄砲(火縄銃)の製造者たち<1-4>	(昭53) 104	(昭54) 106. 108. 110
"	最も古い頃の硝石採法の残存か — 岩手県九戸郡軽米町の古老談 —	(昭53)	105
"	本多利明の“極秘” 焰硝製法(硝石ナリ)	(昭54)	107
山 田 太 郎	呉海軍工廠の大砲発射場について	( " )	108
川 越 重 昌	塩硝製法再開発のあけぼの	( " )	109
山 田 太 郎	造兵事業での製鋼業、呉海軍工廠製鋼部の沿革<1-4>	( " )	110~113
川 越 重 昌	徳島藩に於ける幕末洋式小銃の購入について	( " )	111
岡 田 登	宋代における火薬兵器の発展<1-3>	( " ) 112. 115	(昭55) 116
川 越 重 昌	四国における火縄銃の製作者たち	(昭54)	113
山 田 太 郎	二門の鉄製砲	( " )	114
川 越 重 昌	幕末秩父火薬事業・序編<1・2>	( " )	114. 115
"	安政初年水戸藩徳田・小妻及び天下野村硝石製造所記録からの情報採取<1-10>	(昭55) 116. 117. 118. 120. 122~125	(昭56) 126. 127
佐 藤 直	新型ライフル弾、二題	(昭55)	117
安齊 実・岡田 登	仙台花火の起源	( " )	118
所 莊 吉	弾道の萌芽と変則的な展開	( " )	119
川 越 重 昌	焰硝と硝石 — 仙台藩珍問答 —	( " )	119
泉 水 巖	新元史「速不台伝」の噴火筒箭について	( " )	120
川 越 重 昌	島根県に於ける火縄銃鍛冶について	( " )	121
岡 田 登	仙台花火の発展	( " )	121
泉 水 巖	「新元史速不台伝、噴火筒箭」の典拠について	( " )	121
岡 田 登	中国における流星	( " )	122
	「銃砲史研究」総目次(1~123号)	( " )	123
岡 田 登	金汁礮(金火缶法)	( " )	124
南 坊 平 造	クラベル著「將軍」を読んで	( " )	124
所 莊 吉	大坂城を攻略した五十目玉筒	( " )	125
岡 田 登	金軍の郭蝦蟇の砲について	(昭56)	126
川 越 重 昌	中居剛屏記念碑除幕にあたって	(昭56)	126
所 莊 吉	井上外記正継の系譜	( " )	127
川 越 重 昌	幕末秩父における火薬事業<1-4>	( " ) 128. 129. 132. 133	
所 莊 吉	幕末における洋式火砲について<1>	( " )	128
南 坊 平 造	天正の南蛮火術	( " )	129

岡 田 登	信長の爆竹について	( " )	129
"	三河花火の起源	( " )	130
南 坊 平 造	南蛮樫流の流祖は毛利高政であった	( " )	130
山 田 太 郎	日露役旅順口攻囲戦に於ける海軍の砲戦について	( " )	130
川 越 重 昌	仙台藩内の鉄砲及び火薬史覚え書<1-33>		
	( " ) 131 (昭57) 140, 141, 143 (昭58) 146, 149, 150~152, 154		
	(昭59) 156~159, 161, 165 (昭60) 166, 167, 169, 171~173, 175		
	(昭61) 180, 184 (昭63) 199, 202~205 (平成元) 206, 208, 209		
鈴 木 昌 雄	銃砲技術流通の一端(上杉家文書より)	(昭56)	131
"	幕末の火薬政策	( " )	132
斉 藤 利 生	靖国神社の三十二ポンド砲	( " )	133
"	松濤の二十四ポンド砲に対する疑問	( " )	134
川 越 重 昌	鳥瞰幕末南部藩製硝事業	( " )	134
"	飛弾硝石の結晶率考	( " )	135
所 庄 吉	開陽丸の引き揚げ品にみる兵器<前・後>	( " ) 135	(昭57) 136
斉 藤 利 生	露艦ナヒモフのオブコフ式8インチ主砲と復合装甲	(昭56)	135
川 越 重 昌	硝石製造段取日表復元法への証言	(昭57)	136
"	富山県五箇山人造硝石結晶率考	( " )	137
山 田 太 郎	戦艦の中間砲の威力について	( " )	137
澤 田 平	堺鉄砲鍛冶極印事件日記	( " )	137
川 越 重 昌	承前・硝石製造復元法への証言、南部藩宮古製硝見積書より	( " )	138
澤 田 平	堺鉄砲記 ―ケウエール御筒―	( " )	138
所 庄 吉	開陽丸の兵装について	( " )	139
川 越 重 昌	鳥瞰・南部藩製硝業(補遺)	( " )	139
澤 田 平	堺鉄砲鍛冶の貧困	( " )	140
"	堺の火薬業と高三家	( " )	141
川 越 重 昌	品川台場用火薬調合所址、五番台場茨城県谷貝水車	( " )	142
澤 田 平	我が国最初の大射撃場、堺七堂ヶ浜	( " )	142
"	鍛冶秘法と極意並に堺鉄砲の値段	( " )	143
所 庄 吉	高島流砲術とその影響	( " )	144
澤 田 平	堺鉄砲記、修履鉄砲と鹿追鉄砲	( " )	144
川 越 重 昌	或る硝石煮稼人の死	( " )	145
山 田 太 郎	航空機搭載用二十耗機関銃<1・補・続>	( " ) 145	(昭58) 148, 150
斉 藤 利 生	小金井の銅砲	(昭58)	147
川 越 重 昌	江戸時代の火薬仮比重考	( " )	147
吉 岡 新 一	朝鮮の役における火器について	( " )	148
斉 藤 利 生	再び靖国神社の三十二ポンド砲について	( " )	148
"	函館五稜郭の二門の大砲	( " )	149
中 原 正 二 訳	<資料紹介>朱玉著、古代中国の火薬技術	( " )	149
澤 田 平	井上関右衛門鍛冶屋敷	( " )	151

川 越 重 昌	花巻周辺に於ける幕末硝石採取製造業の復元＜1－5＞	(昭58) 151 (昭59) 160 (昭61) 182 (昭62) 192 (平成元) 207
〃	「江戸時代の火薬比重考」の一部証正と増補	(昭58) 152
所 荘 吉	芝辻理右衛門の大砲について	( 〃 ) 153
川 越 重 昌	品川台場用西洋流火薬の周辺	( 〃 ) 153
館 野 孝	＜資料紹介＞鈴木新田幕府合薬水車遺構	( 〃 ) 153
山 田 太 郎	幕末の武蔵国川口における造砲事業＜1・続＞	( 〃 ) 155 (昭59) 157
所 荘 吉	稲富流砲術伝書について	(昭58) 155
〃	徳川幕府の鉄砲に関する職制のメモ	(昭59) 156
澤 田 平	芝辻長左衛門保敬	( 〃 ) 158
山 田 太 郎	初期東京地区の日本海軍の工作庁について＜1－7＞	(昭59) 161～164 (昭60) 166～168
川 越 重 昌	品川台場火薬庫及び収納法の復元＜上・中・下＞	(昭59) 162, 163 (昭63) 201
所 荘 吉	(承前) 芝辻理右衛門の大砲について	(昭59) 163
川 越 重 昌	古典技術によるミニ硝石製造法	( 〃 ) 164
所 荘 吉	徳島藩武具御定書抜粹	( 〃 ) 165
斉 藤 利 生	横須賀三笠公園のガトリング銃	(昭60) 166
〃	ガトリング機銃の我国への導入	( 〃 ) 167
粕 谷 利 一	硝石考現学	( 〃 ) 168
斉 藤 利 生	安乗崎の鑄鉄砲	( 〃 ) 168
中 原 正 二	黒色火薬の起源に関する種々の論説	( 〃 ) 169
有 馬 成 甫 編	海軍砲塹史編纂資料1号、敷根火薬製造所始末	( 〃 ) 169
生 田 豊 太 郎	スマトラ銃についての記録並びに考察	( 〃 ) 170
斉 藤 利 生	安乗崎鑄鉄砲の材質について	( 〃 ) 170
山 田 太 郎	コールダイト（無煙火薬）の採用＜1－続々＞	( 〃 ) 171～173
澤 田 平	力様用心（ちからだめし）石と玉除（たまよけ）石	( 〃 ) 172
所 荘 吉	砲術諸流派の調査＜1－8＞	( 〃 ) 173, 174 (昭63) 197, 198, 200, 202, 204 (平成元) 206
川 越 重 昌	品川台場火薬史料と考察抄	(昭60) 174
所 荘 吉	砲術伝書の再検討	( 〃 ) 175
山 田 太 郎	海軍用小銃の制定＜1－7＞	( 〃 ) 175 (昭61) 176, 177, 179, 181, 182, 183
川 越 重 昌	目黒（東京）火薬庫の復元と意味考	(昭61) 176
所 荘 吉	慶長元和期の砲術伝書解説	( 〃 ) 176
川 越 重 昌	鹿児島県敷根火薬製造所＜1－3＞	( 〃 ) 177, 179, 181 (平成2) 224
安 田 修	尾張藩矢田河原砲場に関する一考察＜1・2＞	(昭61) 178, 180
川 越 重 昌	煙火工場爆発 ― 或る事件記録資料抄 ―	( 〃 ) 178
南 坊 平 造	日本歴史の世紀別年表について	( 〃 ) 181
川 越 重 昌	鹿児島市滝の上製造所＜1－9・終＞	( 〃 ) 183, 185 (昭62) 186, 188, 189, 191, 193, 195 (昭63) 196 (平成2) 223

南 坊 平 造	世紀毎の日本文化発達史編集の急務	(昭61)	183
山 田 太 郎	＜海軍造兵史資料＞信管の改良（日清戦争前）＜1－5＞	( “ ) 184	(昭62) 186, 187, 189, 191
中 原 正 二	わが国戦前の軍用火薬考	(昭61)	185
南 坊 平 造	日本文化発達史世紀別年表＜1－＞	( “ ) 185	(昭62) 188
所 庄 吉	日本銃砲史＜1－6＞	(昭62) 186, 189, 190, 195	(平元) 208, 209
川 越 重 昌	焰硝蔵の論理	(昭62)	187
岡 田 登	中国の爆竹について＜1・続＞	( “ )	187, 188
川 越 重 昌	幕府の和泉新田焰硝蔵復元素描	( “ )	190
斉 藤 利 生	ワシントンで見付けた長州台場砲	( “ )	192
“	横浜の外国砲	( “ )	193
有 馬 成 甫	南北戦争に於ける銃器の問題	( “ )	194
川 越 重 昌	加賀藩野田村、幻の焰硝蔵	( “ )	194
斉 藤 利 生	三笠公園の鑄鉄砲	(昭63)	196
山 田 太 郎	機関砲採用始末＜5回＞	( “ ) 196, 199, 202	(平元) 206, 209
斉 藤 利 生	横須賀米軍基地の鑄鉄短砲	(昭63)	197
川 越 重 昌	仮説、幻の加賀藩焰硝蔵再考、附土清水火薬製造所仮説復元	( “ )	197
“	薩摩の狐火、種子島伝来火薬考	( “ )	198
所 庄 吉	大槻玄沢と砲術備用序録	( “ )	199
粕 谷 利 一	荘内藩塩硝蔵通史・特にその初期塩硝（火薬）事情について＜前・後＞	( “ ) 200, 201	
斉 藤 利 生	靖国神社の百五十封度砲と薩摩藩の造砲	( “ )	203
岡 田 登	中国に於ける竹筒の使用と黒色火薬	( “ )	204
“	中国唐代、五代・十国時代に兵器として使われた火器	( “ )	205
斉 藤 利 生	佐賀藩の長崎警備と百五十封度砲	(平元)	207
所 庄 吉	ペルリのもたらせる小火器に就いて	( “ )	210
川 越 重 昌	鹿児島市谷山作硝場＜1－5＞	( “ ) 210～213	(平2) 222
山 田 太 郎 編	仮呉兵器製造所設立経過＜5回＞	(平元) 210, 211, 213, 214	(平2) 216
所 庄 吉	古式銃砲の鑑定基準	(平元)	211
池 田 浩 理	Cal. 0.32 Smith & Wesson Model No2 Army Revolver について（拳銃）	( “ )	212
“	レミントン銃器会社における実包製造の系譜	( “ )	213
川 越 重 昌	硝石製法図解 (1) 山田森重の場合＜上・下＞	( “ )	214, 215
	同 (2) 上島半兵衛の場合＜上・下＞	(平2)	216, 217
	同 (3) 薩摩藩谷山の場合＜上・中・下＞	( “ )	218～220
中 原 正 二	陸軍岩鼻火薬製造所＜1・2＞	(平元) 215	(平2) 216
赤羽通重・所 庄吉	松本市歴史資料館所蔵の韓国古火器について＜1・補＞	(平2)	217, 219
澤 田 平	日野鉄砲	( “ )	218
山 田 太 郎 編	砲桶ノ問題＜1・続＞	( “ )	219, 220

所 莊 吉	文永役の“てっはう” — 鉄砲と磁砲の関係 —	( “ )	221
粕 谷 利 一	続硝石考現学	( “ )	221
川 越 重 昌	薩摩火薬史跡実踏記(終稿)	( 前出	223, 224 )
所 莊 吉	中国における銅銃の出現とその展開	( “ )	222
赤 羽 通 重	スランカメンの銃砲戦 — ヨーロッパにもあった長篠合戦 —	( “ )	223
山 田 太 郎	克式砲の採用<1・続>	( “ )	224 (平3) 232
川 越 重 昌	五箇山塩硝私考<1-20>		
	(平2) 225 (平3) 226~235 (平4) 236~240, 243~245 (平5) 246		
生 田 豊 太 郎	火縄についての考察	(平2)	225
岡 田 登	仙台花火小史	(平3)	226
“	尾張花火の歴史、その一考察	( “ )	227
山 田 太 郎 編	海軍造兵史料、速射砲の採用	( “ )	227
“	同 三十二 加式砲採用ノ経緯	(平3)	229
安 齊 実	世界射撃史<1-4>	( “ )	228, 230, 235 (平4) 236
赤 羽 通 重	「ヨーロッパ火縄銃」見聞記<1・2>	( “ )	231, 233
生 田 豊 太 郎	タンネンベルグ銃筒のレプリカについて	( “ )	232
山 田 太 郎 編	山内閉鎖機及山内砲架の採用	( “ )	233
所 莊 吉	砲術諸流派の調査・補遺	( “ )	234
“	江戸時代における銃砲規制の変遷<前・後>	(平4)	237, 238
“	壬申の銃砲取締規制について	( “ )	239
岡 田 登	中国における黒色火薬の発明 — その発展過程と実用化の時期 —		
	( “ )	240	
“	中国宋代における火器と火薬兵器	( “ )	241
川 越 重 昌	種子島鉄砲伝来時の火薬製法は如何に教わったか<1・2>	( “ )	241, 242
赤 羽 通 重	講話・トルコ史にみられる鉄砲の用法	( “ )	242
粕 谷 利 一	藩政時代の硝石の収量とその化学分析	( “ )	242, 243
川 越 重 昌	簡易硝石土検証法 — 誰でもすぐ出来る法 —	( “ )	243
所 莊 吉	古式銃砲の用語解説(和流砲術編)(洋式砲術編)(続洋式砲術編)	( “ )	244, 245 (平5) 247
北 村 陽 子	江戸下町鍛冶家資料の紹介	(平5)	246
赤 羽 通 重	「ヨーロッパ火縄銃」見聞記(続)	( “ )	247
川 越 重 昌	<追補稿>品川台場用麻骨炭は栃木県壬生町産	( “ )	247
“	中国製硝考①、旧熱河省南部、黒水地方の製硝業	( “ )	248
“	民家史からみた硝石	( “ )	249
赤 羽 通 重	コンスタンチノーブル攻撃戦	( “ )	249
川 越 重 昌	雲古から硝石への旅路	( “ )	250
所 莊 吉	「兎園小説」に見る馬上筒	( “ )	250
川 越 重 昌	人造硝石異聞	( “ )	251
所 莊 吉	短筒について	( “ )	251
川 越 重 昌	日本では硝石原料土から幾らの硝石がとれるか(上) — その化学分析値と考察 —		

		( " )	252
中 原 正 二	火薬に貢献した人々 (一) 石藤豊太 (二) 山家信次 (三) 正田強	( " )	252. 253 (平6) 262
粕 谷 利 一	庄内藩の塩硝秘伝<1・2>	(平5)	253. 254
北 村 陽 子	日本橋鉄砲町と貳惣八郎	( " )	254
所 莊 吉	阿久根の仏郎機について	( " )	255
雪島宏一・赤羽通重共著	<資料紹介>1565年のトルコ軍によるマルタ島包囲戦<1~3>	( " )	255 (平6) 256. 257. 258
所 莊 吉	津田流鉄砲口決記について	(平6)	256
"	砲術流派の起源について	( " )	257. 258
"	銃砲史に関する文献の疑問	( " )	257. 258
"	洋式砲術書にみる熟語の成立<前・後>	( " )	259. 260
"	銃兵号令詞の邦語化について	( " )	261
"	随筆に見る鉄砲関係の記事<1・2>	( " )	262. 263
山 田 太 郎 編	海軍造兵史(水雷の部)<1・続>	( " )	263. 264
北 村 陽 子	下町鍛冶の鞆祭り	(平7)	265
荻 原 博 志	中井京助の気砲	( " )	265
北 村 洋 子	貳家のことども	( " )	266
赤 羽 通 重	レオナルド・ダヴィンチと鉄砲	( " )	266
北 村 洋 子	<史料紹介>兵学・語学伝習事件乾	( " )	266
梶 輝 行	幕末期小田原藩の西洋軍事技術の導入<1>	( " )	267
所 莊 吉	国友鉄砲鍛冶文書 ― 国友十人方史料の紹介 ―	( " )	267

## 分類 4 - C

# 参考資料刊行物目録

城 月刊「歴史読本」特集 昭和44年新春特大号 新人物往来社

信長・秀吉・家康77の謎 月間「歴史読本」特集 昭和52年3月号  
新人物往来社

三方ヶ原・長篠の合戦 月刊「歴史と旅」特集 昭和58年3月号  
秋田書店

スランカメンの銃砲戦 — ヨーロッパにもあった長篠合戦 —  
赤羽通重 抜刷 12頁

蘭学資料 蘭学資料研究会会員名簿 同研究報告誌309. 310  
昭和51年

火薬・硝石、中国資料書名カード 書名、著者、所蔵、註記  
五十音順に1綴300枚余 川越重昌作成

火薬学資料 「日本産業火薬史」抄、「西洋事物起原 — 硝石・火薬・強水」ほか

火薬関係の規格・保安に関する資料各種

銃砲・火薬に関する法律・規則各種 一括

明治前日本機械技術史 — 動力（水車）送風機 — 日本科学史刊行会  
A 5 抜刷

技術の歴史 月刊「歴史と旅」特集 昭和49年7月号 秋田書店

風車・水車・建築 川上顕治郎 連載1～21 抜刷

鉄砲六百年展図録 主催 読売新聞社

会場 新宿ステーションビルディング 昭和41年8月 B変型

全日本古武道演武大会図録 第3回大会 昭和55年2月 日本武道館

第10回大会 昭和61年11月 宮城県第2総合運動場武道館

「戦国騎馬残照」馬・鉄砲特別展目録 澤田平氏提供

澤田平氏発表資料 火縄銃、古式砲術、和時計 昭和57年～平成2年

いわて・奥羽史談・金ヶ崎の美術工芸 1977年6月 No.86 岩手図書館

昭和55年12月 70、71号 奥羽史談会

昭和62年11月 図録 金ヶ崎町

「水沢の自然と文化」抜刷ほか 岩手県内資料各種

見えぬ歴史の道辿って ―大鉄砲藩・火縄の里

岩手県住田町の記念行事 平成3年5月8日～11日

東海新聞の特輯記事

岩手県住田町町勢要覧・ポスター ほかに五葉山火縄・民俗民謡資料、  
イベント行事報道紙 平成3年度

陸・海軍に関する資料各種 一括

## 分類 4 - D

# 刊行物以外の資料目録

塩硝土全国試料標本 国内各地の土、107種につき、川越重昌の試みた  
実験資料、標本収納ケース 4 箱

大陸で硝石採取できる実習品 — 大陸の砂漠または湖沼・陸地にも硝石  
の存在が実証できる用具 —

少量製造実験による硝石の実物 実験者、秩父市 小池昭一  
平成 4 年 7 月 記録共

硝石結晶の見本

川越重昌、硝石実験実習の道具 試験管、メスシリンダ、アルコールラ  
ンプ、容器類、その他一式 20数種 50点以上

麻骨炭の現物 群馬県吾妻町菅原神社宮司海野恭斉氏作製  
長尺のまま箱入

灰の見本 — 火薬製造、造粒法の参考品 茶室の夏用ふろ灰、あられ  
灰、ろ灰、冬用ぬれ灰、など 7 種

関の火縄 勢州関宿火縄屋彦四郎

火縄銃が語る戦国ハイテク革命 毎日放送「地球浪漫」録画ビデオ  
ビデオテープ 1 巻 25' 19" 昭和 62 年 1 月 10 日 澤田平氏寄贈

豪砲！ 火縄銃演武 堺鉄砲研究会 映像記録部製作 ビデオテープ

1 巻 13' 30" 平成 2 年 澤田平会長の寄贈

花火のすべて 第64回 大曲全国花火競技大会 ビデオテープ 1 巻  
平成 2 年 8 月 25 日 秋田市大曲市 TOWN 情報

伊達藩火薬製造所碑除幕式 仙台市 ビデオテープ 1 巻

宮城県資料フィルム 2 本

1. 軍器秘数 完 正徳 5 年 (1715) 8 月 33 駒
2. 鉄砲・火薬秘事記録 桜田氏意見書ほか 94 駒  
資料提供・撮影 宮城県図書館 昭和 53 年

金沢藩資料フィルム (明治) 5 本 4 駒、9 駒、23 駒、15 駒、9 駒  
土清水合薬所関係史料 金沢、読売新聞支社提供

